



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)4月25日号 No.1725

## 目次

■ 2016年のロシア・NIS諸国の経済(下)	1
■ モスクワほっとニュース	10
ロシアの甘いもの屋:アリョンカ/10	
■ 『ロシアNIS調査月報』2017年5月号のお知らせ	12
■ トピックス	13
稚内～サハリン航路、2017年度は3倍増便/13	
日ロ貿易円滑化に関する協力覚書に署名/13	
日ロエネ協議会、協力案件加速で一致/13	

## 2016年のロシア・NIS諸国の経済(下)

### はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータ等に基づき、2016年の経済実績を中心に、NIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

今回は、全13カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルを扱う。

### カザフスタン： 油価底打ちで一息つくも、依然急がれる構造改革

2016年、数値に表れたカザフスタンの経済状況は前年より一層厳しい。GDP成長率はかろうじてプラスながら対前年比1.0%と前年の1.2%からさらに減速、鉱工業生産は前年の▲1.6%に続き▲1.1%と2年連続で下落した。油価低迷の影響から2015年に前年比42.5%もの減少となった輸出は2016年さらに20%低下、国内需要の減退により輸入も減少したため収支ではプラスを保ったが、黒字額の116億ドルは前年比▲24.6%で、2014年比の低下幅は実に70%に達する。経常赤字は2015年の対GDP比3.0%から2016年は6.1%へと倍増した。

ただし、これら一連の数値をよそに、2016年のカザフスタンの経済状況は特に後半において、前年